



豊後牛



かぼす

とよ

くに

ゆた

くち

豊の国から豊かな口を

～ 医科歯科連携で築く健康長寿 ～



とり天



関サバ

入場無料

どなた様もご入場
いただけます。

第34回 全国歯科保健大会



日時／平成25年11月16日(土) 12:30～16:40 会場／iichiko総合文化センター iichikoグランシアタ
主催／厚生労働省、大分県、大分市、(公社)日本歯科医師会、(一社)大分県歯科医師会

ごあいさつ



公益社団法人
日本歯科医師会会長
大久保 満男



一般社団法人
大分県歯科医師会会長
長尾 博通

第34回全国歯科保健大会は、テーマを「豊の国から豊かな口を」として大分県において開催することとなりました。

大分県は、人口約120万人。「アジアの玄関口」である九州の北東部に位置し、北側は周防灘に東側は伊予灘、豊後水道に面しています。別府温泉や由布院温泉など、全国的にも有名な温泉地を有しており、源泉数、湧出量ともに日本一で、まさに「おんせん県」といえます。古くは「豊(とよ)の国」とよばれ、6世紀の後半に豊前の国の一部と豊後国から成り立ったとされています。「豊(とよ)」とは物が多く不足がないという意味であり、現在では県民・行政が情報発信の際の総称として大分県を「豊(とよ)の国」と呼んでいます。

現在の統計によると我が国のがんの罹患率は男女ともに約50%になっており、国民の2人に1人ががんになる時代に突入したといわれています。

一方、がん治療における口腔ケアや歯科治療は重要な支持療法となっており、口腔の状態ががん治療成績や予後に大きく関わるといったことが明らかになったことから、平成22年から国立がん研究センターと日本歯科医師会は「がん患者のための医科歯科連携事業」を開始しました。

大分県歯科医師会もこれを受け、今年度より「大分県がん患者医科歯科連携事業」を展開し、がんに関しても口腔衛生を向上させることにより、がん治療合併症等の予防・軽減を図り、さらにはすべてのがん患者が安心して歯科治療を受けることができる社会基盤整備の構築を目指しています。

「豊かな口」とは、噛む、食べる、話す、といった口の基本的な機能をより良い状態で維持し続けていることであって、たとえがんになったとしても「医科歯科連携」を実践していくことで、その人のQOLを維持し、そのことが「健康長寿」につながっていくということを、この大会を契機として広く県民はもとより、全国に発信していきたいと考えています。

そして私たち歯科医師会は、歯科医療を「生きる力を支える生活の医療」と位置づけ、日々の診療に臨んでいく覚悟を今後も持ち続けていきたいと思えます。

このような趣旨から、本大会の基調講演には、我が国のがん治療の第一人者であり、国際的にも著名である、がん研究会有明病院消化器外科部長の佐野武先生にご講演をいただき、その後フォーラムでは、日本歯科医師会会長の長尾博通先生にも加わっていただき、がん治療における医科歯科連携が私たちに何をもたらすのかについて、ご談議いただきたいと思えます。また、コーディネーターには東洋経済新報社取締役編集局長の田北浩章氏をお迎えし、経済ジャーナリストとしての立場から医科歯科連携がもたらす経済効果についても触れていただく予定です。

さらに、歯科保健事業の推進及び歯科保健衛生の普及向上に多大なご功績のあった個人及び団体の方々に表彰を執り行い、被表彰者の皆様へ敬意と感謝の意を表したいと思えます。

最後になりましたが、全国各地から多くの皆様にご参加いただき、この大会が実りのあるものになりますようご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

開 | 催 | 概 | 要

趣 旨

全国から歯科保健関係者が多数集い、歯と口の健康を守ることが全身の健康に繋がっていることを理解していただくために、「口腔機能の維持」がいかに重要であるかを国民に発信していく。そして、超高齢社会を迎えた日本において生活習慣病の予防及び治療に歯科保健医療がどのように関わるかを研究討議し、さらに、「医科歯科連携で築く健康長寿」の実現に向けて、国民に新しい時代の歯科保健活動、ならびに歯科医療は「生きる力を支える生活の医療」であるということを普及、啓発していくことを目的とする。また、歯科保健事業の推進及び地域における公衆衛生の向上に多大な功績のあった個人及び団体を表彰し、もって我が国の歯科保健事業の一層の推進を図るものである。

テ ー マ

とよ く に ゆ た く ち
豊の国から豊かな口を
～ 医科歯科連携で築く健康長寿 ～

日 時

平成25年11月16日(土) 12:30~16:40

会 場

iichiko総合文化センター iichikoグランシアタ

〒870-0029 大分県大分市高砂町2番33号 TEL.097-533-4003(代表)

参 加 者

地域住民、都道府県歯科医師会関係者、都道府県・市町村保健医療福祉行政関係者、保健・医療・福祉・教育研究機関関係者、保育所・幼稚園・小学校・中学校・福祉施設の保健関係者、事業所の衛生関係者、健康保険組合関係者、各種団体関係者

主 催

厚生労働省、大分県、大分市、(公社)日本歯科医師会、(一社)大分県歯科医師会

後 援

文部科学省、公益社団法人 日本医師会、公益社団法人 日本薬剤師会、公益財団法人 日本学校保健会、社団法人 日本学校歯科医会、公益社団法人 日本歯科衛生士会、公益社団法人 日本歯科技工士会、一般財団法人 日本公衆衛生協会、公益財団法人 8020 推進財団、公益財団法人 健康・体力づくり事業財団、社会福祉法人 全国社会福祉協議会、公益社団法人 全国私立保育園連盟、全日本私立幼稚園連合会、全国公立幼稚園長会、社会福祉法人 恩賜財団母子愛育会、公益社団法人 母子保健推進会議、一般社団法人 日本家族計画協会、公益財団法人 母子衛生研究会、公益社団法人 日本栄養士会、一般財団法人 日本食生活協会、公益社団法人 日本看護協会、日本介護福祉士会、公益社団法人 日本助産師会、公益社団法人 日本小児保健協会、全国保健所長会、一般財団法人 日本口腔保健協会、一般財団法人 口腔保健協会、公益財団法人 全国老人クラブ連合会、中央労働災害防止協会、公益財団法人 産業医学振興財団、健康保険組合連合会、独立行政法人 日本スポーツ振興センター、一般社団法人 日本福祉用具供給協会、社団法人 日本社会福祉士会、NHK、読売新聞社、朝日新聞厚生文化事業団、毎日新聞社、日本経済新聞社、産経新聞社、大分県教育委員会、大分県学校保健会、大分県市町村教育委員会連合会、大分県市町村教育長協議会、大分県小中学校長会、大分県立学校長協会、大分県高等学校PTA連合会、大分県PTA連合会、大分県私立幼稚園連合会、大分県青少年育成県民会議、大分県食生活改善推進協議会、大分県市町村保健活動研究協議会、公益財団法人 大分県体育協会、大分県市長会、大分県町村会、杵築市、一般社団法人 大分県医師会、公益社団法人 大分県薬剤師会、公益社団法人 大分県看護協会、公益社団法人 大分県理学療法士協会、公益社団法人 大分県作業療法協会、公益社団法人 大分県柔道整復師会、一般社団法人 大分県介護福祉士会、一般社団法人 大分県言語聴覚士協会、公益社団法人 大分県栄養士会、一般社団法人 大分県歯科技工士会、一般社団法人 大分県歯科衛生士会、国立大学法人 大分大学、大分大学医学部附属病院、大分県立看護科学大学、公立大学法人 大分県立芸術文化短期大学、大分県立農業大学校、日本文理大学、別府大学、立命館アジア太平洋大学、学校法人 平松学園 大分短期大学、東九州短期大学、別府大学短期大学部、大分県歯科技術専門学校、大分県歯科専門学校、九州歯科用品商協同組合、大分県歯科用品商組合、一般社団法人 大分県地域婦人団体連合会、大分県保育連合会、大分県労働局、独立行政法人 労働者健康福祉機構 大分産業保健推進連絡事務所、全国健康保険協会大分支部、社会保険診療報酬支払基金大分支部、大分県後期高齢者医療広域連合、大分県国民健康保険団体連合会、大分県社会福祉協議会、公益財団法人 大分県老人クラブ連合会、大分県老人福祉施設協議会、特定非営利活動法人 大分県介護支援専門員協会、大分商工会議所、大分県商工会連合会、株式会社 大分銀行、西日本シティ銀行、大分合同新聞社、西日本新聞社、読売新聞西部本社、一般社団法人 共同通信社 大分支局、時事通信社 大分支局、OBS 大分放送、TOS テレビ大分、OAB 大分朝日放送、エフエム大分、NOAS FM、OCT 大分ケーブルテレコム、大分ケーブルテレビネットワーク株式会社、KCV コミュニケーションズ、CTS ケーブルテレビ佐伯、ケーブルテレビ姫島、杵築ど〜んとテレビ、臼杵ケーブルネット株式会社、日田市情報センター、このスケーブルテレビ

プ | ロ | グ | ラ | ム

12:30 開 会

- 挨拶
- 歯科保健事業功労者表彰
 - ・厚生労働大臣表彰
 - ・日本歯科医師会会長表彰
- 平成25年度親と子のよい歯のコンクール表彰
 - ・厚生労働大臣表彰／日本歯科医師会会長表彰

14:00 アトラクション

津久見椋の実少年少女合唱団

【プロフィール】

1979年、青少年健全育成を目的に津久見市により設立。定期演奏会をはじめ、大分県内のイベント参加、病院、養護学校等を訪問するなど、地域に根ざした奉仕活動も定期的に行っている。



14:30 基調講演

演 題 『がんにならないために、なった時のために』

講 師 がん研究会有明病院 消化器外科部長 佐野 武

15:30 教育講演

演 題 「わかる!医科歯科連携」

講 師 大分県歯科医師会 副会長 脇田 晴彦

15:40 フォーラム

■テーマ

「生活歯援!～がん治療における医科歯科連携は私たちに何をもたらすのか～」

■シンポジスト

がん研究会有明病院 消化器外科部長 佐野 武

日本歯科医師会会長 大久保 満男

■コーディネーター

東洋経済新報社取締役編集局長 田北 浩章

16:30 大会宣言

大会旗引継ぎ

16:40 閉 会



とよ くに ゆた くち
豊の国から豊かな口を

～ 医科歯科連携で築く健康長寿 ～

基調講演



講師

公益財団法人がん研究会有明病院
消化器外科部長

佐野 武氏

プロフィール

昭和30年5月27日生まれ、杵築市出身
大分県立大分上野丘高等学校卒業、
東京大学医学部医学科卒業

東京大学医学部医学科卒業後、東京大学附属病院、焼津市立総合病院などに勤務。昭和61年よりフランス政府給費留学生としてパリ市キューリー研究所フェロー消化管発癌実験および乳癌手術研修を行う。

帰国後、東京大学第一外科文部教官助手などを経て、平成5年2月国立がんセンター中央病院外科医員、平成20年8月より、がん研究会有明病院消化器外科上部消化管担当部長、平成24年4月より同消化器外科部長を務める。「胃癌の組織型に及ぼす胃内pHの影響に関する実験的研究」により東京大学医学博士へ。日本臨床腫瘍研究グループ(JCOG)運営委員、厚生労働省厚生科学研究費「がん臨床研究事業」主任研究者、日本胃癌学会理事として幅広い分野で活躍している。

教育講演

「わかる！
医科歯科連携」



講師

一般社団法人大分県歯科医師会
副会長

脇田 晴彦

フォーラム

「生活歯援！ ～がん治療における医科歯科連携は
私たちに何をもたらすのか～」



シンポジスト

公益財団法人がん研究会有明病院
消化器外科部長

佐野 武 (杵築市出身)



シンポジスト

公益社団法人日本歯科医師会
会長

大久保 満男



コーディネーター

株式会社東洋経済新報社
取締役編集局長

田北 浩章 (杵築市出身)

会場へのアクセス



JRをご利用の場合 ※JR大分駅「北口」(1番ホーム側出口)

- JR大分駅からタクシーで約2・3分
(道路状況によって変動します)
- JR大分駅から徒歩で約8分

お車をご利用の場合 ※高速自動車道大分ICから

- 九州横断自動車道大分ICから
市街地方面へ約7分

飛行機をご利用の場合 ※大分空港

- 空港特急バスエアライナー利用(所要時間:約1時間8分)
- 大分空港エアライナー乗場にて乗車 → JR大分駅前降車
- → JR大分駅よりタクシーで約2・3分、もしくは徒歩で約8分

【エアライナーお問合せ先】

大分交通 / TEL.097-534-7455 www.oitakotsu.co.jp
 ※道路状況によって時間が変わる場合がございます。
 ※空港特急バスエアライナーなどは接続便によって発車時刻が異なります。

お問い合わせ先

一般社団法人 大分県歯科医師会

〒870-0819 大分市王子新町6番1号
 TEL.097-545-3151 FAX.097-545-3155
<http://www.oita-dental-a.or.jp/>

